

双胴型高速船「ナッチャンWorld」一般公開

神奈川地方協力本部（本部長 山野太資 1海佐）は、5月27日（日）横須賀市久里浜港にて開催された横須賀市主催の「ナッチャンWorld」一般公開のイベントに、陸上自衛隊通信学校・通信教導隊・中央野外通信群・通信教育直接支援中隊（久里浜駐屯地）及び航空自衛隊第1高射特科群第2高射隊（武山分屯基地）の支援を受け広報活動を実施した。

当日は晴天に恵まれたこともあり、6,500名の来場者が訪れ、車両展示では、野外通信システム車両、野外炊具1号、重レッカー及び水タンク車等を展示した。各車両には、老若男女問わず小型トラックの中へ入って椅子の座り心地を確認したり、隊員からの丁寧な説明を受け興味津々の様子であった。

神奈川地本は、「今後も、積極的に広報活動に努め自衛隊の魅力をアピールしていく」としている。



双胴型高速フェリー船「ナッチャンWorld」



野外炊具1号の説明に夢中の様子

懇親会で募集相談員との団結を強める

自衛隊神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 松浦1海尉）は、平成30年5月28日（月）、横須賀市内にあるセントラルホテルにおいて「三浦半島自衛官募集相談員総会」を支援した。

同相談員会は自衛官の募集に対する意識の高揚及び募集相談員の相互の連携強化を図るとともに、任務達成に積極的に寄与し、自衛隊の健全な育成維持に貢献している。

総会では、募集相談員会会長・山田 高美氏以下、30名の会員が出席する中、平成29年度の事業報告、会費執行報告及び平成30年度の事業計画、予算執行計画の審議などが厳正に行われた。その席で、神奈川地本本部長（山野太資 1等海佐）から「29年度の募集成果の総括及び30年度の募集計画」などの、熱意あふれる説明があり相談員は熱心に耳を傾けていた。相談員は、厳しい募集環境を認識するとともに、今後の募集支援において学校開拓などの協力を積極的に申し出る等、意見交換が多く見られた。その後の懇親会では、本部長から相談員の活力への感謝の言葉から始まり、山田会長からは所員に対する労いや、今後の活躍を期待された。

横須賀地域事務所は「今後も、厳しい募集環境が続く中で一人でも多くの志願者・入隊者を確保するとともに、募集相談員と団結し、積極的に自衛官の募集及び広報活動を実施し、防衛基盤の強化等を図っていく」としている。



本部長の熱意あふれる挨拶